

平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成31年2月8日

上場会社名 株式会社音通 上場取引所 東
 コード番号 7647 URL <http://www.ontsu.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡村邦彦
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) 仲川進 (TEL) 06-6372-9100
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	12,163	△5.0	210	△25.3	193	△20.7	78	△48.3
30年3月期第3四半期	12,796	△5.4	281	△23.6	244	△24.1	152	△4.6

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 78百万円(△48.4%) 30年3月期第3四半期 152百万円(△7.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	0.41	0.40
30年3月期第3四半期	0.79	0.78

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	10,989	3,392	30.2
30年3月期	10,725	3,354	30.5

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 3,316百万円 30年3月期 3,275百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.12	—	0.12	0.24
31年3月期	—	0.12	—		
31年3月期(予想)				0.12	0.24

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	16,900	0.5	325	1.9	273	0.1	115	10.8

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期3Q	198,996,645株	30年3月期	198,584,645株
② 期末自己株式数	31年3月期3Q	5,001,410株	30年3月期	5,001,405株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期3Q	193,843,559株	30年3月期3Q	193,135,720株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における経営成績は、売上高は12,163,084千円（前年同四半期比5.0%減）、営業利益は210,515千円（前年同四半期比25.3%減）、経常利益は193,495千円（前年同四半期比20.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は78,574千円（前年同四半期比48.3%減）であり、セグメントの業績は次の通りであります。

a. 食料品・生活雑貨小売事業

当セグメントでは、「FLET'S」及び「百圓領事館」等の総合100円ショップ並びに食品スーパー「F MART」を運営しております。

当第3四半期連結累計期間における新規出店店舗は、次の15店舗であります。

オープン	店舗名称	所在地
平成30年4月26日	FLET'S アプロ堺店	堺市堺区
平成30年5月1日	FLET'S ビブレ明石店	兵庫県明石市
平成30年5月18日	FLET'S アコレ宮戸店	埼玉県朝霞市
平成30年5月18日	FLET'S アコレ水谷東店	埼玉県富士見市
平成30年5月24日	FLET'S アプロ松ノ浜店	大阪府泉大津市
平成30年5月25日	FLET'S アルク安岡店	山口県下関市
平成30年6月1日	FLET'S will G 白井店	千葉県白井市
平成30年7月5日	FLET'S アプロ寝屋川店	大阪府寝屋川市
平成30年7月26日	FLET'S サンディ堺菩提町店	堺市東区
平成30年9月1日	FLET'S イズミヤ上新庄店	大阪市東淀川区
平成30年9月7日	FLET'S アプロ中宮店	大阪市旭区
平成30年10月18日	FLET'S アプロ鶴見店	大阪市鶴見区
平成30年10月26日	FLET'S カスミ牛久店	茨城県牛久市
平成30年11月23日	FLET'S じゃんぼ野崎店	大阪府大東市
平成30年12月14日	FLET'S 砂町銀座店	東京都江東区

一方で、100円ショップにおきましては、FLET'S 4辻店、FLET'S なかもず店、FLET'S 布施店他全9店舗を、また、食品スーパーにおきましては、F MART 北鈴蘭台店、F MART 菩提町店を閉店いたしました。

その結果、当第3四半期連結会計期間末日現在、「FLET'S」「百圓領事館」等の100円ショップ直営店舗160店舗、同FC店舗6店舗、食品スーパー「F MART」直営店舗2店舗の合計168店舗を運営しております。

100円ショップにおきましては、既存店のリニューアルと新店のオープンを推し進めるとともに、お客様により魅力ある商品を提供するため、100円以外の価格帯における商品群の導入や新コンセプトによるコーナー展開を進めております。しかしながら、設備投資によるコスト負担の増加や、店舗閉店による売上の減少などが先行しており、業績の回復には至っておりません。

その結果、当セグメントは、売上高は9,071,228千円（前年同四半期比8.4%減）、セグメント利益（営業利益）は4,040千円（前年同四半期比93.4%減）となりました。

b. カラオケ関係事業

当セグメントでは、業務用カラオケ機器及び周辺機器の賃貸並びに卸売事業を行っております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、安定した売上高の推移のなか、減価償却費が減少したことにより、売上高は1,747,937千円（前年同四半期比0.9%減）、セグメント利益（営業利益）は132,042千円（前年同四半期比33.4%増）となりました。

c. スポーツ事業

当セグメントは、スポーツクラブ「JOYFIT」及び、ホットヨガスタジオ「LAVA」を運営しております。

当第3四半期連結累計期間における新規出店店舗は、次の3店舗であります。

オープン	店舗名称	所在地
平成30年7月16日	JOYFIT 24 阪急富田駅前	大阪府高槻市
平成30年9月1日	JOYFIT 24 大正区役所前	大阪市大正区
平成30年12月1日	JOYFIT 24 京都桂西	京都市西京区

当第3四半期連結会計期間末日現在、スポーツクラブ「JOYFIT」を3店舗、24時間型フィットネス・ジム「JOYFIT24」を14店舗、ホットヨガスタジオ「LAVA」を1店舗運営しており、当連結会計年度末までに3店舗の新規オープンを予定しております。

スポーツジムの店舗数が増加することにより事業規模が拡大する一方で、急ピッチな新規店舗開発による当初費用負担の増加が業績に影響を与えております。

その結果、当セグメントは、売上高は985,604千円（前年同四半期比25.0%増）、セグメント利益（営業利益）は145,424千円（前年同四半期比14.7%減）となりました。

d. IP事業

当セグメントは、店舗及び住宅の賃貸並びにコインパーキング「T.O.P.24h」の運営をしております。

当第3四半期連結累計期間における賃貸店舗と賃貸住宅の新規設置はなく、コインパーキング「T.O.P.24h」の新規出店店舗は、次の5店舗であります。

オープン	店舗名称	所在地
平成30年4月3日	T.O.P.24h 東成複合施設用	大阪市東成区
平成30年4月7日	T.O.P.24h 生野東②	大阪市生野区
平成30年4月7日	T.O.P.24h 生野東③	大阪市生野区
平成30年4月23日	T.O.P.24h なかもず②	堺市北区
平成30年11月29日	T.O.P.24h 弁天町駅①	大阪市港区

コインパーキング事業におきましては、当第3四半期連結会計期間末日現在、大阪府、兵庫県、京都府におきまして61ヵ所867車室のコインパーキングを運営しております。

近隣の競合状況や利用実績などを細かく分析してきめ細かな運営をしておりますが、近隣への競合店舗の進出などにより競争が激化しております。また、新規店舗のオープンに伴う当初費用負担の増加や、物件開発及び営業力強化のための人件費が増加した結果、当セグメントは、売上高は358,313千円（前年同四半期比4.4%増）、セグメント損失（営業損失）は38,836千円（前年同四半期は3,741千円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

a. 資産

流動資産は、4,802,537千円（前連結会計年度末比451,034千円増加）となりました。これは主として、現金及び預金が402,287千円、預け金が33,386千円増加したことなどによります。

固定資産は、設備投資の進捗に遅れがあり、6,179,374千円（前連結会計年度末比184,193千円の減少）となりました。これは主として、建設協力金が53,175千円、のれんが39,357千円、賃貸資産（純額）が23,884千円、建物及び構築物（純額）が18,410千円減少したことなどによります。

また、繰延資産は、7,325千円（前連結会計年度末比3,246千円の減少）となりました。

この結果、総資産は10,989,237千円（前連結会計年度末比263,593千円の増加）となりました。

b. 負債

流動負債は、3,253,084千円（前連結会計年度末比9,164千円の増加）となりました。これは主として、商品仕入の増加より支払手形及び買掛金が221,837千円増加する一方で、1年内償還予定の社債が65,000千円、資産除去債務が36,146千円、1年内返済予定の長期借入金が35,117千円、未払法人税等が30,443千円減少したことなどによります。

固定負債は、4,343,420千円（前連結会計年度末比216,134千円の増加）となりました。これは主として、金融機関からの資金の借入により長期借入金が188,452千円増加したことなどによります。

この結果、総負債は、7,596,504千円（前連結会計年度末比225,298千円の増加）となりました。

c. 純資産

純資産は、3,392,732千円（前連結会計年度末比38,295千円の増加）となりました。これは主として、資本金及び資本剰余金が、ストックオプションの権利行使による新株発行によりそれぞれ4,612千円増加し、利益剰余金が、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上で78,574千円増加する一方、配当金の支払で46,509千円減少した結果32,064千円増加したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期における連結業績予想は、平成30年5月10日付の「平成30年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」に記載した数値から修正しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,646,470	2,048,757
受取手形及び売掛金	483,946	484,222
商品及び製品	1,832,870	1,828,782
原材料及び貯蔵品	1,165	1,496
前渡金	11,040	7,294
前払費用	195,223	208,134
預け金	123,392	156,779
その他	63,335	72,704
貸倒引当金	△5,941	△5,634
流動資産合計	4,351,503	4,802,537
固定資産		
有形固定資産		
貸貸資産(純額)	1,415,542	1,391,657
建物及び構築物(純額)	1,505,671	1,487,261
土地	868,533	870,255
その他(純額)	801,292	808,702
有形固定資産合計	4,591,039	4,557,877
無形固定資産		
のれん	150,224	110,867
その他	22,995	19,693
無形固定資産合計	173,219	130,560
投資その他の資産		
投資有価証券	24,513	25,589
建設協力金	307,769	254,594
差入保証金	1,007,007	964,313
繰延税金資産	126,268	116,944
その他	142,383	139,682
貸倒引当金	△8,633	△10,186
投資その他の資産合計	1,599,309	1,490,937
固定資産合計	6,363,568	6,179,374
繰延資産	10,572	7,325
資産合計	10,725,643	10,989,237

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,302,212	1,524,049
1年内返済予定の長期借入金	1,022,873	987,756
1年内償還予定の社債	65,000	—
未払金	211,563	207,775
1年内支払予定の長期割賦未払金	346,573	327,333
未払法人税等	56,278	25,834
資産除去債務	53,745	17,599
その他	185,674	162,736
流動負債合計	3,243,920	3,253,084
固定負債		
社債	960,000	960,000
長期借入金	1,965,983	2,154,436
長期割賦未払金	640,702	664,963
役員退職慰労引当金	132,296	126,516
退職給付に係る負債	115,259	121,217
資産除去債務	79,359	80,508
その他	233,684	235,778
固定負債合計	4,127,285	4,343,420
負債合計	7,371,206	7,596,504
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,648,832	1,653,445
資本剰余金	1,156,789	1,161,402
利益剰余金	650,287	682,352
自己株式	△180,687	△180,687
株主資本合計	3,275,222	3,316,512
新株予約権	79,214	76,220
純資産合計	3,354,437	3,392,732
負債純資産合計	10,725,643	10,989,237

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	12,796,612	12,163,084
売上原価	8,327,716	7,843,608
売上総利益	4,468,896	4,319,475
販売費及び一般管理費	4,187,138	4,108,960
営業利益	281,757	210,515
営業外収益		
受取利息	7,475	6,015
受取配当金	640	—
持分法による投資利益	805	1,076
受取保険金	1,593	20,172
その他	4,942	8,626
営業外収益合計	15,457	35,890
営業外費用		
支払利息	28,270	24,756
支払保証料	2,969	2,244
社債発行費償却	3,402	2,659
その他	18,469	23,249
営業外費用合計	53,112	52,910
経常利益	244,102	193,495
特別利益		
事業譲渡益	—	21,116
投資有価証券売却益	24,000	—
新株予約権戻入益	411	677
特別利益合計	24,411	21,793
特別損失		
固定資産売却損	645	—
固定資産除却損	1,157	888
店舗閉鎖損失	2,086	60,159
関係会社株式売却損	—	1,639
特別損失合計	3,888	62,687
税金等調整前四半期純利益	264,625	152,601
法人税、住民税及び事業税	103,064	64,737
法人税等調整額	9,155	9,290
法人税等合計	112,219	74,027
四半期純利益	152,405	78,574
非支配株主に帰属する四半期純利益	294	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	152,111	78,574

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
四半期純利益	152,405	78,574
四半期包括利益	152,405	78,574
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	152,111	78,574
非支配株主に係る四半期包括利益	294	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				
	食料品・生活 雑貨小売事業	カラオケ 関係事業	スポーツ事業	I P 事業	計
売上高					
外部顧客への売上高	9,900,449	1,764,542	788,418	343,202	12,796,612
セグメント間の内部売上高 又は振替高	88	45,651	—	42,804	88,544
計	9,900,537	1,810,194	788,418	386,006	12,885,156
セグメント利益又は損失(△)	61,655	99,009	170,525	△3,741	327,447

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	327,447
セグメント間取引消去	21,721
全社費用(注)	△67,411
四半期連結損益計算書の営業利益	281,757

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				
	食料品・生活 雑貨小売事業	カラオケ 関係事業	スポーツ事業	I P 事業	計
売上高					
外部顧客への売上高	9,071,228	1,747,937	985,604	358,313	12,163,084
セグメント間の内部売上高 又は振替高	527	754	—	42,120	43,402
計	9,071,755	1,748,692	985,604	400,434	12,206,487
セグメント利益又は損失(△)	4,040	132,042	145,424	△38,836	242,671

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	242,671
セグメント間取引消去	22,585
全社費用(注)	△54,741
四半期連結損益計算書の営業利益	210,515

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。